



P11



P40

CONTENTS

- 南の風 01 新年のごあいさつ
内田 良信／株式会社鹿児島経済研究所 代表取締役社長
- シリーズ人口減少にうち克つ 02 《Ⅰ 業種分析》タクシー業界
- 08 《Ⅱ 寄稿》小さな島の「ふつう」の日常から
山下 賢太／東シナ海の小さな島ブランド株式会社 代表取締役
- 12 《Ⅲ 市町村の取り組み》注目高まる「小さな拠点」づくり
～地域の未来を切り拓く～
- 産学官連携シリーズ 14 《鹿児島大学の産学官連携活動③》
世界唯一の技術でバイオガスから水素を創る
- 経営情報 16 ふるさと納税とコミュニケーション
- ビジネス法務Q&A 18 ストレスチェックについて
(メンタルヘルスへの対応の重要性)
- 鹿児島県の景況 20 経済概況
- ランキング鹿児島 24 〈携帯電話通信料〉…全国7位/政令指定都市含む52市
- 指標 25 主要経済指標
- 31 主要金融指標
- 宮崎県の景況 32 経済概況
- 35 経済指標
- 経済日誌 36 鹿児島県内
- 37 全国・九州
- 38 宮崎県内
- アジアインフォメーション 39 自動車販売動向にみる中国人消費者の変化
- 歴史まち歩き 40 かつての屋久島の玄関口・一湊をあるく
- BOOKs 41 今月の1冊・12月のベスト10
- ご案内 42 KER 会員サービスのご案内
KER 法人向け情報サイト活用術
- 43 九経調セミナーIn鹿児島のご案内
- 44 2015年度 KERセミナーのご案内
- 45 2016年度 新入社員セミナー 受付開始
2016年度 ビジネスセミナーのご案内

I 業種分析

タクシー業界

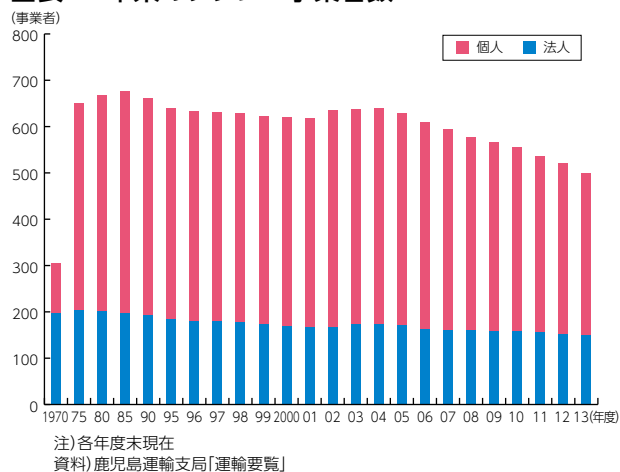
【要約】

- ・鹿児島県内のタクシー業の市場規模（営業収入）は、2014年度にはピークの1991年度と比較して半減している。要因としては人口減少に加え、他公共交通機関に比べて割高な運賃や自家用車の世帯保有台数の増加、飲酒機会の減少などが影響している。
- ・一方で、需要減少のペースと比較し、車両数減少のペースは鈍い。限られた顧客を奪い合う形で、競争は激化している。実働1日1車当たりの営業収入も減少、ドライバーの待遇改善も課題となっている。
- ・今後は多様なニーズを捉えたサービスの提供や幅広い年齢層や交流人口を取り込むための取り組みなど「攻め」の姿勢もさらに重要になる。タクシーの機動性を生かした「2地点間の輸送にとどまらない付加価値を有するサービス」が求められる時代がきている。

はじめに

タクシーはバスや鉄道などと並んで、地域を支える重要な交通機関の一つである。その中でも、機動的な輸送手段で他の公共交通機関にはみられない利便性の高い交通サービスを提供しているのがタクシーの特徴といえる。ただ、人口減少による市場縮小の影響は避けられず、全国的にタクシー業の市場規模は年々縮小傾向にある。本稿では本県の法人事業者を中心にタクシー業の分析を行う^{注1}。

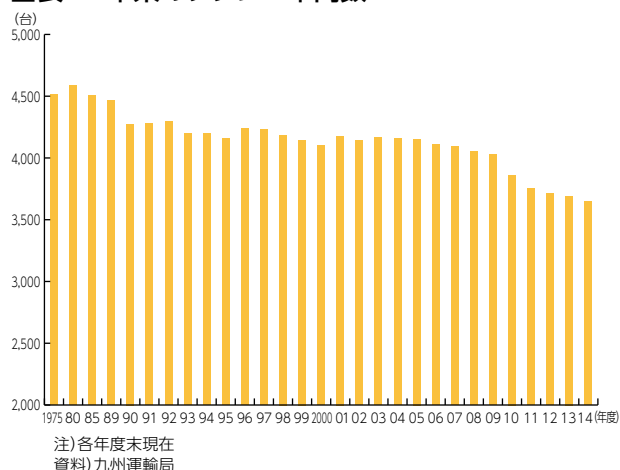
図表1 本県のタクシー事業者数



市場規模は半減

本県タクシーの法人事業者数（2013年度末）は150（全体499）、車両数（14年度末）は3,649台となり、いずれも減少傾向が続いている（図表1、2）。13年度末の規模別事業者割合を03年度末と比較すると車両数10台以下、従業員数10人以下の小規模法人事業者の割合が増えている（図表3-1、

図表2 本県のタクシー車両数



注1) 本県タクシー業における法人事業者が占める比率は事業者数が30.1%、車両数が91.4%、輸送人員が95.3%、営業収入が95.1%（13年度）。